

木鐸[×](ボクタク)昔、中国で法令をふれるときに鳴らした鈴の一種。世人に警告を發し、教え導く人の意に用いる。

朴訥[×](ボクトツ)朴は撲で未加工の木。訥は言内にこもるの意。飾りけがなく無口なこと。

反古(ホゴ)書き損じの不用の紙のこと。転じて広く役にたたぬことを言う。

発起(ホッキ)計画を起こすこと。発は起と同義。

発作(ホッサ)ある症状が突発的に起こることを言う。作は起と同義。

発足(ホツク)団体が作られ、活動を始めると言う。

発端(ホツタン)起こり。始まり。

補填[×](ホテン)欠けた所を填め補うこと。

煩惱(ボンノウ)悩み煩^{なや}いの意で、心をかき乱す欲望を言う。

本望(ホンモウ)本来の望み。前々から望んでいたこと。

翻弄[×](ホンロウ)思いのままに弄^{もてあそ}ぶこと。

邁進[×](マイシン)邁は遠く行くが本義。努め励む。すぐれる。元気に進むこと。

埋設(マイセツ)地下に埋めて設備すること。

𠂔巴[×][×](まんじともえ)互いに入り混り入り乱れること。

微塵[×](ミジン)微細^じな塵^{ちり}の意で、“微細”の意に用いる。

未遂(ミスイ)未だ遂^{いま}げず^との意で、計画だけで着手しない、また着手しても遂行できないことを言う。

瑞穂[×](みずほ)瑞々^{みず}しい稻の穂。日本の古い国名。

密漁(ミツリョウ)法を破って漁をすること。

未聞(ミモン)未だ聞^{いま}か^ずの意。まだ聞いたことがない珍しいこと。

冥加[×](ミョウガ)知らず知らずに受ける神仏の加護。また、冥利の意。

冥利[×](ミョウリ)善行の報いとして得た幸福。また冥加の意。